

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和2年度 第5回理事会 議事録

開催日時：令和2年8月12日（水）19：00～20：00 場所：オンライン会議（ホスト：沖臨技事務所）

（参加者）手登根稔会長、瀬戸司副会長、山城篤副会長、安里光宏副会長

（Web参加者）上江田ゆかり事務局長、運天芳浩理事、宮城和文理事、斎藤辰好理事、田盛仁理事、伊波敬理事、山内恵理事、仲間美香理事、與那嶺淳理事、郡島萌理事、登川雅子理事、喜舎場良香理事、原國督理事、牧志輝理事、池間龍也離島担当理事

（欠席者）宮里泰山理事、多和田真順監事、屋我榮監事

（書記）山城副会長

<議題>

1. 沖臨技より

1) 第1回三役会議について

- ・ 去った7月20日（月）に三役会議を行った。議題は、①第56回沖縄県医学検査学会について、②2021年度日臨技九州支部医学検査学会について、③新型コロナウイルス感染症の対応についての3点に関して。
- ・ 第56回沖縄県医学検査学会は、学会形式は現状から会場を設けるのは避けて、Web開催の方向で進める。一般演題の発表は延期とし、特別講演やランチョンセミナーの対応をどうするかが論点となり、ライブでの配信にするか、期間を設けての沖臨技HPへアップを実施するかに絞られ、三役会議（7/20開催）→学術会議（7/29開催）→理事会（8/12開催）で決定する。
- ・ 2021年度日臨技九州支部医学検査学会の第1回実行委員会は、全体での会議を避け、各部長・副部长以上を集めて執行部だけの開催を行う。開催日に関しては、離島圏の部長もいるので金曜日に沖臨技事務所で行う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応は、現在、連続の医師会からの要請で、PCR検査検体採取に技師会から理事を中心に参加・協力しているが、感染した場合の補償がまだ明確になっておらず、今後、瀬戸副会長を窓口に詰めていただく。

また、日臨技からの指示で沖臨技が仲介として実施しているPCR検査研修会については、第1回を7月19日（日）にAVSS社（うるま市）で開催し9名の修了者を輩出した。

2) 第56回沖縄県医学検査学会について

- ・ 学会企画の特別講演やランチョンセミナーの開催に関しては、10月4日（日）から10月31日（土）の期間に、沖臨技HPへアップすることで決定した。
- ・ 第57巻沖縄県臨床検査技師会誌は8月末日までに仕上げて、9月あたりに印刷会社へ提出し、9月の学術会議で配布する方向で調整する。

- 3) 2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回：沖縄県開催）について
 - ・会期：令和 3 年 11 月 6 日（土）、7 日（日） 場所：沖縄コンベンションセンター
 - ・第 1 回実行委員会開催は現段階での開催は困難なため、8 月 1 日に配信した山城学会長からの全体メールをキックオフとし、各部で活動を開始していただいた。今後、COVID-19 の状況を配慮し、全体会議、もしくは執行部の会議を開催する。
- 4) PCR 検査要員派遣についての進捗状況（AVSS での研修会等）
 - ・第 1 回 PCR 検査実地研修会開催（受講者 9 名）し、第 2 回の開催を 8 月 23 日（日）に予定している。第 2 回の受講定数に関しては 10 名を予定しており、応募からもれた受講者は、第 3 回・第 4 回へ順次移行させ、バックアップ体制を強化する。研修会の内容は、座学から実技まで行っている。
 - ・AVSS 社に派遣している PCR 検査要員は、9 名の中から 5 名（浦添総合病院 2 名・中頭病院 2 名・沖縄リハビリテーション病院 1 名）を派遣している。
- 5) PCR 検体採取センターへの技師派遣
 - ・現在、連続的に医師会から協力要請のある PCR 検体採取センターへの技師派遣に関して、これまで金武町、沖縄市、那覇市の 3 カ所まで実施してきたが、今後も要請が想定されるため、派遣依頼書を事前に理事の所属する各施設長あてに協力要請を発送する。
- 6) 中部地区医師会コロナ対策本部への参画
 - ・中部地区医師会検診センターも AVSS 社と同様に、今後機器導入を検討しており、中部地区医師会側から日臨技へ協力要請の依頼があり、承諾している。

2.日臨技より

1) 好事例報告

- ・日臨技から今回の COVID-19 対応に関して、「好事例報告」の対象として日臨技が該当し、近日中に手登根会長の記事が JAMT へ掲載予定である。

2) 第 69 回日本医学検査学会開催方法について

- ・第 69 回日本医学検査学会は、Web 参加も認めるハイブリッド形式での開催が想定される。

会期：令和 2 年 9 月 5 日（土）・6 日（日） 会場：幕張メッセ国際会議場

参加費：オンライン限定事前参加：¥5,000 専門教科 20 点

ハイブリッド（会場+オンライン）事前参加：¥10,000 専門教科 30 点

- ・上記の学会形式を次年度当会が担当する 2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回）でも検討していくので、この学会を担当している会社を手登根会長から日臨技へ確認する。

3) 令和 2 年度事業活動について

- ・日臨技から令和 2 年度事業における都道府県技師会と関連について、助成金が対象となる「生涯教育推進研修会」に関しては、定額が 2 万円から 3 万円に引き上げられる。
- ・今年度開催予定であった都道府県技師会主催「リーダー育成講習会」については、現在の状況で開催はかなり困難なため次年度へ延期する。
- ・全国「検査と健康展」の開催に関しては、現在誘致する施設がなく、見合わせている状況である。安里副会長と運天理事が預かり、今後の開催の有無を判断していく。
- ・日臨技議決権行使に関して、沖縄県は 60%をクリアしたが、次回は 70%クリアを目指したい。

3. 沖縄県臨床検査技師連盟より

- ・日臨技の連盟代表が椛山元副会長に就任し、連盟副代表を横地・長沢・丸田 3 副会長が担当する。先日、日臨技および全国の連盟のメンバーが決定した。
- ・九州支部のブロック長は、熊本県の瀧口さんが担当する。
- ・年度大会が担当する 2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回）内で、連盟の会議を開催する。大会でも連盟に入っていない会員の方は、加入を促していただきたい。

4. 会計報告

- ・賛助会員のほうで、未払いの会社があったので催促し支払っていただいた。
- ・各部の九州学会会議用に事務所の鍵を数本増加した。
- ・COVID-19 対策用に体温計を購入した。

5. その他

- ・本会議から実施した ZOOM を使用したオンライン会議の形式については、ほとんどの理事から了承が得られたので、状況を配慮しながら継続していく。
- ・與那嶺理事より、今後の沖臨技理事の LINE をより便利な LINEWORKS の方へ移行する意見があり、今後調整していく。
- ・表彰推薦委員会については、今後、安里副会長が中心となって引き継いでいく。

次回、第 6 回理事会：令和 2 年 9 月 9 日（水）19：00～ オンライン会議の予定

令和2年8月16日
文責 山城 篤

手登根 稔	瀬戸 司	山城 篤	安里 光弘	上田 昌孝	運天 芳浩	宮城 和文	與那嶺 淳	山内 東	池田 龍也	伊波 敏
										
登川 聖子	高森 辰好	郡島 萌	宮里 素山	仲間 美香	田盛 仁	原國 啓	牧志 輝	高倉 裕良香	和田 真順	屋我 榮
			欠						欠	欠